

# 第四自治会会長によるコラム

# 多摩川小景

## 2026年2月号

### 「何で子供は勉強しないといけないのか？」

恐らくお子様をお持ちの方は一回位お子さんに聞かれた事があるのでは無いでしょうか？食塩水の問題で「何でコイツはこんなにバカみたいにコップに水入れたり塩入れたりまたこぼしたり何回もやってるんだ？」と疑問に思ってみたり。そんな学生時代の記憶も忘却の彼方へと霧散してしまった大人になって不意に子供に

「何で勉強しないといけないの？」

なんて聞かれてしまうと答えに窮してしまい、「うるせえ、黙ってやれ」とか言ってしまうなんて事もあるかも知れません。では今日はその辺りのお話をば致したいと、斯様に考えております。

私は中学生の頃とんでもない劣等生で、授業を聞いていても何言っているのか分からず、兎に角時間が過ぎるのをやり過ごす為にずっと寝て過ごす毎日。お陰でテストの成績は惨憺たる有様、特に数学なんかは酷いもので100点中10点とかそんなのばかりでしたので、当然高校も「ここ落ちたら行ける所ないぞ」と先生にくぎを刺され、何とか高校には受かる事が出来ました。

そんな私ですが、何の偶然か大学生になりまして、まあご想像の通りろくに学校にも行かずに自堕落な毎日、流石にこれじゃマズいなんて危機感が私にも差し迫って来まして。何か飯のタネになる様な技術を身に付けようと考えた時、中学生時代に死ぬほどやっていたゲームの事を思い出し「あんだけゲーム好きだったからプログラマーとかイケるんじゃないか？」なんて考えてパソコンと本を購入してプログラミングを始めたのですが、今になって考えると「まあ何とも世の中をナメていたものだ」と…

ワケがノイタリトウハオロシイモダ (;^ω^)

そんな前途多難のゲームプログラマー計画でしたが、ある時とんでもない障壁に躓き絶望的な事実を知らされる事になりました。

「ゲームプログラミングって数学が必要なんだ…」

そうなんです。ゲームプログラミングが関数や微分積分更にはベクトルや内積外積なんて高度な数学知識を必要とする事を全く知らなかったのです。と言うかそれも出来ないのにプログラマなんかになろうとした自分が今となっては恥ずかしい…そんなこんなで中学数学の知識すら無かった自分としては20代になって数学が出来なかった事を後悔し、夢のゲームプログラマーの夢も潰える事となってしまいました。

色んな知識を満遍なく吸収して将来自分のやりたい事や叶えたい夢が勉強しなかった事で諦めざるを得ない事態にならない様に、子供達には勉強する意味をそんな風に教えていたりします。

とは言え血は争えないもので、そうは言ってもなかなか勉強する様にはならないモノなんですよねえ、まあそんなモンだ、と生暖かい目で見守るのが親の役割なんですよ？子供ってのは難しい。